

新体制決まる

9月定例会で、正副議長、各常任委員会、各特別委員会等の改選が行われました。



議長
細川 雅子

副議長
寺岡 公章

大竹市議会だよりをお開きいただきありがとうございます。
先般令和元年9月大竹市議会定例会におきまして、第38代大竹市議会議長に就任いたしました細川雅子と副議長の寺岡公章でございます。

元号が令和になって、新たなメンバーを加えての大竹市議会が発足しております。

9月議会では、議会運営の中心となる人事が決まりました。議員歴の若い2期目の議員が常任委員会や特別委員会の委員長に選任され、フレッシュな顔ぶれとなっております。

また、この度の選挙が大竹市の歴史上はじめての無投票となったことを重く受け止め、議会改革特別委員会を新たに設置いたしました。この特別委員会では、議会基本条例に基づいた「市民の皆様が開かれた議会、市民参加を進める議会、市民に信頼される議会」の姿の実現に向けた改革への取り組みをお願いしております。

これからの4年間、歯止めのかからない人口減少とそれに派生する問題、高齢社会の到来による問題、神奈川県厚木基地から空母艦載機の移転が完了したことによる様々な問題など多くの課題があります。

一方で、社会はAI技術の進歩に見られるように価値観も多様化し、生活様式も変化することが予測されます。これらの変化の波を感じながらも、生活に根ざした意思決定をすることで、市民の皆様の満足感が高まり、住んで良かったと実感できる大竹市にすることが大事です。

これからも、まちの課題を市民の皆様と共有し、一緒に考えて具体的な解決策を提案できるよう、議会が一丸となり責任を果たしてまいります。

今後とも市議会に対しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。